

MACF 礼拝説教要旨

2022年2月27日

「使徒の召命」

(ルカによる福音書6章12節～16節)

6:12 そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈って夜を明かされた。

6:13 朝になると弟子たちを呼び集め、その中から十二人を選んで使徒と名付けられた。

6:14 それは、イエスがペトロと名付けられたシモン、その兄弟アンデレ、そして、ヤコブ、ヨハネ、フィリポ、バルトロマイ、

6:15 マタイ、トマス、アルファイの子ヤコブ、熱心党と呼ばれたシモン、

6:16 ヤコブの子ユダ、それに後に裏切り者となったイスカリオテのユダである。

1) 使徒とは

原語のギリシア語で「アポストロス」。

この言葉には、遣わされた者、メッセンジャーなどの意味があります。

ユダヤ的思考方では、遣わされた者は「代理人」です。遣わされた者は遣わした者と同一人物である、つまり、同じ権威をもって行動し交渉するという理解がそこにあります。

新約聖書にも「代理人」の概念があります。

イエス様は究極的な意味で、神の「代理人」です。

「神がお遣わしになった方は、神のことばを話される。神が御霊を無限に与えられるからである」

(ヨハ3:34)。

つまり、イエス様はご自分の伝えている「神の国の福音」を使徒たちに託そうと彼らを選びました。現在、教会の中には「使徒」と呼ばれる役職はありません。

ちなみに、「弟子」という言葉がありますが、これは「学び続ける者」という意味があります。だからこそ私たちは聖書からの学びを継続しているわけです。

これにはいわゆる「卒業」はありません。

私たちは使徒ではありませんが、キリストの弟子と言えると思います。

キリストを信頼し、学び続けているからです。

2) 12人の使徒たち

*ペトロ(本名はシモン アンデレの兄)

イエス様の最初の弟子の一人。弟子になる前はガラリヤ湖で漁師をしていました。初代ローマ教皇。ローマでの布教の際、皇帝ネロの迫害により殉教したとされます。

*アンデレ

ペテロの弟

イエス様の最初の弟子の一人。弟子になる前はガラリヤ湖で漁師をしていました。ギリシアでX字型の十字架で架けられ、殉教したとされます。

*ゼベダイの子ヤコブ

ヨハネの兄

アルパヨの子ヤコブと区別するために、大ヤコブともいわれます。

ペテロ兄弟と同じく、弟子になる前はガラリヤ湖で漁師をしていました。

パレスティナでヘロデ・アグリッパの迫害により殉教したとされます。

*ヨハネ

ゼベダイの子ヤコブの弟

ペテロ兄弟と同じく、弟子になる前はガラリヤ湖で漁師をしていました。新約聖書の「ヨハネによる福音書」「ヨハネの黙示録」「ヨハネの手紙」を書いたといわれています。

12使徒の内ヨハネのみは殉教しなかったとされます。

*ピリポ

ペテロやアンデレと同じくガリラヤ地方のベツサイダ出身です。バルトマイにイエス様を紹介しました。フリギア（現在のトルコ）で殉教したとの伝承があります。

*バルトロマイ

ピリポの紹介によりイエス様の弟子になりました。アルメニアで皮剥ぎの刑により殉教したとされることから、バルトマイを描いた絵画には自身の剥がれた皮とナイフを持った姿を象徴的に描かれることがよくあります。

*トマス

疑い深く、他の使徒からイエス様が復活したとの話を聞いても、イエス様の姿を見てまでは信じようとしませんでした。インドで伝道したとされます。

*マタイ

弟子になる前はローマ帝国の徴税人でした。

『マタイによる福音書』の著者であるという説がありますが、確認されてはいません。

*アルファイの子ヤコブ

ゼベダイの子ヤコブと区別するために、小ヤコブともいわれます。

*タダイ

ユダともいわれますが、イスカリオテのユダとは別人です。イエス様の兄弟ではないかとの伝承があります。

*熱心党のシモン

武力によってローマ帝国の権力に立ち向かう熱心党に所属していました。

ペルシアで殉教したとの伝承があります。

*イスカリオテのユダ

12使徒の内、イスカリオテのユダのみガリラヤ地方の出身ではありません。裏切りを企て、銀貨30枚でユダヤの祭司長にイエス様の身柄を引き渡すことを決めました。その後、イエス様を裏切った罪の意識から自殺をしました。

*12弟子の名前を覚えるための歌：

<https://youtu.be/ywpo6paBcZQ>

3) 何のために

マルコによる福音書3章にはいわゆる並行記事が載っています。そこにはこうあります。

*

3:13 イエスが山に登って、これと思う人々を呼び寄せられると、彼らはそばに集まって来た。

3:14 そこで、十二人を任命し、使徒と名付けられた。彼らを自分のそばに置くため、また、派遣して宣教させ、

3:15 悪霊を追い出す権能を持たせるためであった。

3:16 こうして十二人を任命された。シモンにはペトロという名を付けられた。

3:17 ゼベダイの子ヤコブとヤコブの兄弟ヨハネ、この二人にはボアネルゲス、すなわち、「雷の子ら」という名を付けられた。

3:18 アンデレ、フィリポ、バルトロマイ、マタイ、トマス、アルファイの子ヤコブ、タダイ、熱心党のシモン、

3:19 それに、イスカリオテのユダ。このユダがイエスを裏切ったのである。

この中にイエス様が使徒たちを選んだ理由が書かれています。

1) 自分のそばに置くため

2) 派遣して宣教させ、悪霊を追い出す権能をもたせるためのふたつです。

「そばに置くため」

つまり、使徒とはキリストによって「遣わされたもの」たちなのですがキリストのそばに在ることのみ「遣わされたもの」としての使命を果たすことができ、キリストの神の国の福音を、キリストのそばに在るからこそ明確に理解できたのです

「神の国の福音のための派遣」

使徒たちは「神の国の福音を宣教し、それによる解放」をもたらす役目を担うことになりました。

イエス様の近くに居て、そのエネルギーをいただき、内容も方法もその心備えもそこで養われ、「神の国の福音」を宣教するために派遣されることとなります。

悪霊を追い出すというのは実際に霊的存在としての悪霊を追い出すこともありますが、同時にさまざまな病気を癒やし、手当し、解放に向かわせるということもあると思います。それらは神の国の到来の中に含まれていることだと思います。

「神の国の福音」というのは、パウロの理解によれば「神さまの働き、介入によってもたらされる解放（義）と平安と喜び」のことです。

コロナ禍で会えなくても「心で寄り添い、祈り、祝福を願う心を持ち続けること」がとても大切です。

私たちは使徒ではありません。キリストを信じ従う弟子、兄弟、そして僕です。でも、託されている内容はほぼ同じと考えて良いと思います。

キリストの近くで生きること。

キリストが他者に提供する「神の国の福音」を一緒に喜ぶこと

神の国の福音を自分の日常の中で体験すること

神の国の福音を分かち合えるように平安と喜びを心に保ちながら生きること

今週もこれらの事柄を大切に一日一日生きていきましょう。

ウクライナとロシアとの戦争が終結しますように。コロナ感染についても穏やかに終息しますように祈りましょう。

MACF 礼拝映像はこちらです。

<https://youtu.be/MpkPGlxBrZQ>